

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成28年3月18日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 ヨイ 横井のむかし バナシ 話編集委員会

所在地 

連絡先 

フリガナ 代表者氏名 ニザキ シゲジ 西崎 繁治  印

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起こし ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり ㊦ その他
事業名	横井のむかし話 第二集の発刊
事業実施区域 (小学校区)	横井小学校区
実施 事業 内容	<p>※実施事業の概要をご記入ください。また、事業実績を示す写真(2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。</p> <p>「横井のむかし話 第二集」の編集にあたっては、月1回程度の企画委員会及び編集委員会を津高公民館にて開催し、むかし話の内容が適切か、歴史的に正しいかということや表現方法、挿絵、カット等について、繰り返し協議した。計4回の校正を経て、平成28年1月下旬に製本を依頼した。横井学区は昭和30年代の後半から宅地造成され多くの団地ができた。横井学区民の多くは団地に住む人々であり、横井の昔を知らない人が多数いる。今回は、そのような大人にも読んでもらおうということ意識して編集にあたった。そのため、高学年児童でも難しい表現がある。これは、親子、地域の大人とその近所に住む子どもとの人間関係づくりという効果を意識したものである。地域に好ましい人間関係があって自分の住む地域を愛する心は生まれるものと考えている。</p> <p>平成27年10月から翌年の1月にかけて、横井小学校に出向き、区づくり推進事業について、とりわけ事業の目的について説明し、今回出版する「横井のむかし話 第二集」の出版意図とその効果的活用について検討を重ねた。その結果、新年度に全校児童に「横井のむかし話 第二集」出版に込められた我々の思い(郷土愛の育成)を紹介したうえで、活用を開始することになった。また、津高地域の小・中学校や公民館、福祉交流プラザ等公共施設に発刊趣旨を説明したうえで寄贈する。この本の出版にあたっては、小学校児童を中心に据えてはいるものの、横井小学校区の造成地にある団地に住む多数の方々だけでなく津高地区に在住の多くの方々にも読んでもらえるように工夫したいと考えている。</p>

ア 地域課題解決⇒解決を旨とした課題の達成状況
 イ 地域課題掘り起こし⇒掘り起こしにより明らかになった課題等
 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等
 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒旨とした地域組織づくりの達成状況
 オ その他⇒定めた目標の達成状況
 など、掲げた目的とその達成状況を記入してください。また、事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。

事業目的とその達成状況・効果

横井地区は、昭和30年代の終わりごろから団地造成が進み、農村からベッドタウンの学区にと大きく様変わりした。また、それに合わせて大型商業施設や総合病院、高速道路等が建築され、生活しやすい街となった。マンション、賃貸アパートも多数建築され、一気に人口も増えた。人々の生活が便利になった一方で、農業中心の時代に比べると人間関係が非常に希薄になった。こういった状況下、「横井のむかし話 第一集」が刊行された。地域の伝統的な踊りである「四つ拍子」を子供たちの世代へ繋ごうとする動きや新興団地でも、この地で生まれ育った子供たちにとってはここ横井がふるさとなのだから、子どもたちのためのふるさとづくりをしようという機運が生まれ、夏祭りが行われる新興団地が増えた。

都会化によりかつての田舎の良さが失われてきた横井学区であるが、横井に住む人たちの連帯感を強め、地域の人々が協働して心豊かな地区を創造していくために「横井のむかし話 第一集」はささやかだが貢献してきた。今回の「横井のむかし話第二集」も第一集と同様に地域に貢献できると考えている。

また、横井小学校の児童が、自分たちの生まれたふるさと地域を愛し地域からも愛されることで、生まれ育った横井を愛する郷土愛豊かな大人に成長することを期待している。

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動への周知広報の取組とその評価を記載してください。

企画などの工夫と情報公開

横井小学校や横井コミュニティーハウス等の公共施設を通して広報していく予定である。その公共施設の学校だよりやPTA新聞、地域の広報誌などを通して、「横井のむかし話第二集」刊行の広報しようと考えている。そのために、横井小学校の児童に寄贈するだけでなく、横井小学校で毎年活用していただくために学校の図書館へ、地域の人々の目に触れるように地域の方が多数集う公共施設へ、津高地区全体に広げるために地域のすべての学校へ、津高地区で活動する読み聞かせボランティア団体へ等への寄贈を考えている。また、市立図書館へも寄贈し、市内の多くの読者に読んでいただきたい。さらに、地元の新聞社数社に連絡し、地域の話題として取り上げていただくことも考えている。

また、限られた編集委員会の日数の中で編集・校正をすることとできるだけ多くの目で確認するために、PCに入力したデータを、プロジェクターで投影し、文言の修正やわかりやすい表記の検討を行った。このことにより、作業の能率化を図ることができた。

次年度計画	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また、次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>今年度作成した「横井のむかし話 第二集」は、小学生の高学年でも難しい漢字や表現も使うように編集した。読み聞かせをする大人でも立ち止まって少し考えなければならぬ場合もありそうだ。子どもが保護者に尋ねるとか、地域の読み聞かせボランティアに尋ねるとか、近所の方に聞いてみるといったことが発生すれば、横井学区の人間関係の促進につながるものと考えたからだ。こういった効果も期待し、途中から編集方針を少し変更した。その結果、大人が読んでも読みごたえのある本となった。</p> <p>次年度は低・中学年の児童にも分かるように、表現や表記を易しくした紙芝居の作成準備をしたいと考えている。また、紙芝居を電子データ化することによって、参加者が多数の場合や本がなくてもデータさえあれば、プロジェクターを使って読み聞かせができるようにしたいと考えている。</p>
事業実施者としての評価・感想など	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、あるいは持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったかなど、本事業についての評価をご記入ください。</p> <p>昨年度横井小学校創立100周年事業が学区を挙げて実施された。その事業の一つに、創立100周年記念誌づくり事業があった。その担当者から、横井の昔のことがわかるよい資料はないだろうかという問い合わせが津高公民館にあった。PTAのほとんどは代々横井学区に生活する方々ではない。昭和30年代後半以降、大規模に実施された宅地造成後にできた大型団地に親について引っ越して来たり、家を建て新規に横井学区に住むことになった方々である。だから、横井小学校に通う子どもが、横井のむかしについて親や祖父母に聞いても知らないことが多い。実際に、横井小学校勤務当時、PTA会長を初め、多くのPTA役員が、僕らも横井のむかしについて知りたいと話していた。これが横井学区の状況である。</p> <p>今年度作成した「横井のむかし話 第二集」を発刊することにしたのは、以上のような背景があるからである。親も子どもと一緒に読むことを期待している。</p> <p>自分の住む地域について知ることや多くの地域の方々と触れ合うことを通して、この地域に住む方々の人間関係の促進と地域を愛し地域から愛される人間が育成が成立すると考えている。</p>

■収支決算書

◆収入

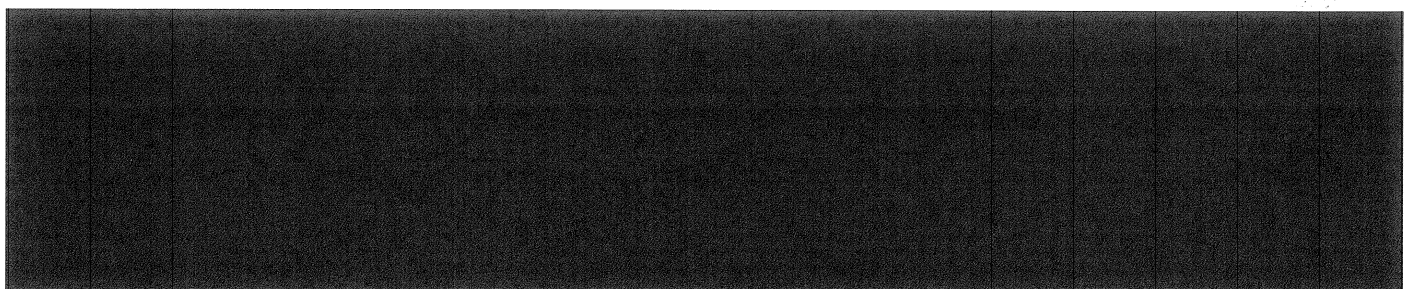
単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	521,600	521,600	
負担金	130,500	130,500	
参加費			
計	652,100	652,100	

◆支出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費			
食糧費			
印刷製本費			
通信運搬費	652,100	652,100	印刷・製本代
手数料			
使用料			
原材料費			
委託料			
報償費			
旅費交通費			
計	652,100	652,100	



■事業実施にあたっての協働の状況(協働の予定も含む)

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
横井小学校	刊行の趣旨の共通理解、本の活用
横井小学校PTA	刊行の趣旨の共通理解、会員への広報
横井小学校学童保育さつきクラブ	本の活用
福祉交流プラザ富原	刊行の趣旨の共通理解、本の展示
横井コミュニティー	刊行の趣旨の共通理解、本の展示
御津印刷	刊行への協力
津高公民館	広報と本の貸し出し
香和中学校	本の活用
野谷小学校	本の活用
馬屋上小学校	本の活用
私立朝日塾小学校	本の活用
マスカット文庫	刊行の趣旨の共通理解、本の活用
市立図書館	本の貸し出し
地元の新聞社	本の刊行を話題として取り上げてもらう

■事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施の準備や打ち合わせ会合美などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
27年 1月 6日	企画委員会 岡山市区づくり推進事業助成申込について協議
27年 1月20日	企画委員会 岡山市区づくり推進事業助成申込書素案を協議
27年 1月30日	企画委員会 岡山市区づくり推進事業助成申込書成案を精査
27年 2月 2日	岡山市区づくり推進事業助成申込書を市に提出
27年 4月30日	活用検討委員会(横井小)「横井のむかし話第二集」編集趣旨説明と活用について協議
27年 5月29日	平成27年度第1期岡山市区づくり推進事業助成事業に決定
27年 6月 5日	編集委員会 岡山市区づくり推進事業の補助対象事業決定報告
27年 6月18日	岡山市区づくり推進事業補助金交付通知書受領
27年 7月 2日	編集委員会 経過報告及び今後の作業計画・日程の協議
27年 7月13日	活用検討委員会(横井小)補助対象事業決定通知及び活用について協議
27年 8月 1日	編集委員会 企画内容についての進捗状況の調整
27年 9月 3日	編集委員会 記述内容の時代考証や正確さ等を検討
27年10月 2日	編集委員会 表紙の絵、挿絵、題字、カットの素案検討
27年11月 2日	編集委員会 電子データをもとに横井のむかし話の表記の統一と校正
27年11月17日	編集委員会 原稿完成、印刷所へ電子データを提出
27年12月 9日	印刷所からゲラ刷り受領 編集委員で1回目の校正
28年 1月19日	活用検討委員会(横井小)搬入時期と活用方法について最終協議
28年 1月25日	編集委員会による4回の校正後、印刷製本へ
28年 2月16日	印刷所から「横井のむかし話第二集」1000部製本完成の連絡
28年 2月17日	横井小校長と本の搬入日の調整
28年 2月29日	印刷製本費支払い
28年 3月 1日	地域の公共施設に「横井のむかし話第二集」を寄付
28年 3月 1日	会計の収支決算報告書作成と監査
28年 3月 1日	津高公民館「横井のむかし話第二集」貸出開始
28年 3月11日	企画委員会 取組の反省と評価 次年度の企画
28年 3月11日	横井小学童保育さつきクラブで、読み聞かせ
28年 3月18日	実績報告書提出